

じゅうにしのえほん



2024年1月のおすすめえほん

西条市立西条図書館



ねずみ、うし、とら、うさぎ、たつ、へび、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、いのしし。今月は 十二の動物が登場する「十二支」にまつわる絵本をご紹介します。



『十二支のはじまり』

いもと ようこ/文・絵 (金の星社)

十二支の12種類の動物は、どうして決まったのか？ねずみが入っているのに、ねこは入っていないのはなぜなのか？ねこがねずみをおいかけるとはなぜなのか？十二支の由来がわかる本。



『十二支のおはなしと十二支がかけるほん』

アキヤマ ヒカル/文 あきやま かぜさぶろう/絵 (JTBパブリッシング)

正月の朝、神様のところに来た順に、一年ずつその年のリーダー



『じゅうにしどこいくの?』

すとう あさえ/ぶん おくはら ゆめ/え (ほるぷ出版)

真夜中に、十二支たちが山を登り始めました。どこにいくのでしょうか。ねずみ、うし、とら、うさぎ…。みんな山のてっぺんを目指すようです。てっぺんに到着してみんなで見たものは…。巻末に十二支についてのミニ解説付き。



『十二支のしんねんかい』

みきつきみ/文 柳原良平/画 (こぐま社)

「とら」えられない速さで千里をかける寅、「み」をくねらせてよろりによろり動く巳、福を「とり」こむ酉…。語呂のよいことばにのせて、十二支の動物たちを紹介しします。



『十二支えほん』

谷山 彩子/作 (あすなろ書房)

十二の動物が登場する「十二支」。でも、いったいどうして「十二」なのでしょう？十二支の由来や干支の意味が楽しく学べる入門絵本。生まれ年の干支の豆知識も満載。



『十二支のお雑煮』

河端 誠/作 (BL出版)

元旦、十二支の動物たちが集まりました。みんなでお節料理を食べ、羽根つきやスグロクをして過ごします。そして、さるが十二種類のお雑煮を作りはじめ…。日本文化の良さを伝えるお正月絵本。



『どうして十二支にネコ年はないの?』

ドリス・オーゲル/文 メイロ・ソー/絵 (徳間書店)

ネコ年がないのはなぜ？十二支の動物たちはどうやって決まったの？中国につたわる昔話を、ネコがユーモラスに語ります。色あざやかなイラストとともに贈る、読みきかせにぴったりの十二支の絵本。



『じゅうにしのはなしのつづき』

スギヤマ カナヨ/作・絵 (ひかりのくに)

十二支のメンバーをそろそろ入れ替えてみない？動物会議でねことライオンが新しい十二支を提案！十二支候補の動物たちは、十二支に競争をしようと言いますが…。クイズも掲載。